

第3期中期経営計画

2025-2027

“スポーツとみどりですべての人を笑顔に”

第3期経営計画の策定にあたって

まず、第2期の計画期間を振り返りますと、コロナ禍の厳しい状況の中にあっても、我々財団は、新たな指定管理施設を獲得し、既存の施設においては、いち早く稼働率、利用者・来園数の回復に努め、各種事業に創意工夫を凝らしながら果敢に取り組み、財団の理念である「スポーツとみどりですべての人を笑顔に」という点から「明るく豊かなまちづくりに貢献する」ことに着実に実績を上げてきたと言えます。こうした実績の陰には、職員の日々の努力の積み重ねがあったと感謝していますし、その過程で多彩な人材が成長してくれたと実感しています。

一方、財団の経営状況においては、人件費の上昇や物価の高騰など一層厳しさを増しています。そのような経済社会情勢の中で、私たち財団が厳しい競争を勝ち抜く方策は、様々な社会的課題をビジネスチャンスと捉え、社会や市民のニーズに応じた当財団ならではの付加価値の高いサービスを提供する中でそれに見合う利益も追及していく、いわゆる「三方良し」の思想に基づく経営の強化を図り、指定管理事業における競争優位性を高めていくことです。さらに新

規事業の立ち上げや、新たなパートナーとの連携などにも果敢にチャレンジしていかねばなりません。

また、「入るを量りて出ざるを制す」と言われるように、生産性を向上させ収益の向上と経費の抑制を図るとともに、適切に投資していくことも必要です。より効率的に仕事を進めていくためにも、組織体制や文化の変革を行い、DXの推進による新たな取り組みも必要であると考えています。

我々財団の強みとは何か？ それは冒頭でも触れたように様々な経歴や資格、アイデアや実行力を持つ多彩な人材を有していることです。その大切な職員一人一人がやりがいとチャレンジ精神を持ち、笑顔を絶やさず働き続けることができる職場環境の構築のため、人材への投資や処遇の改善にも力を入れ、ウェルビーイングの向上を目指していきます。

結びに、今期の経営計画は、目まぐるしく変化する社会情勢に機敏に対応するという考えから、計画期間を従来の5年から3年に短縮しています。この新たな計画のもとに、経営陣から職員まで一丸となって、失敗を恐れず果敢に挑戦しながら、着実に目標を達成していきましょう。



一般財団法人大阪スポーツみどり財団
理事長

山本 功人

経営計画のアウトライン

理念 ※今期計画から「コンセプト」を「理念」とします。

“スポーツとみどりですべての人を笑顔に”

◆ **使命** ※今期計画から「経営理念」を「使命」とします。

理念を実現させるための5つの使命

◆ **中期経営方針**

今期のテーマを事業推進、経営政策、財務別に示す

◆ **アクションプラン**

今期テーマごとの達成をめざす21のプランと指標

◆ **職員行動指針**

すべての財団職員が特に心がけて取り組むべき5つの行動指針

◆ 使命

使命1. 健全で健やかな生活の推進

スポーツ・みどりの事業を通して、すべての人々が夢や潤いのある豊かで健やかな生活を楽しむことができるようウェルビーイングの向上を推進します。

使命2. 地域のパートナーとしてのよりよいまちづくり

地域社会との連携を図ることで公園やスポーツ施設に新たな価値を付与し、多様な利活用を進めることにより、地域の魅力向上・発展に寄与します。

使命3. 新たな可能性への挑戦

仕事に誇りとやりがい、喜びを持ち、ニーズへの迅速な対応と質の高いサービスの提供、さらには収益の追求に挑戦し続けます。

使命4. 私たちも笑顔を絶やさず、働き続けることが出来る職場づくり

「職員を大切にする」精神のもと、組織体制や文化の変革、福利厚生の実施などを図り、職員にとって、より働きやすい職場環境の構築に取り組みます。

使命5. 持続可能な成長に向けての人材確保・育成

職員の成果や貢献を認識し、称賛する文化の醸成やキャリアパスの明確化を図り、職員にとって、より働きがいがある職場環境を構築します。

◆ 職員行動指針

「職員行動指針」とは中期経営方針に基づき事業に取り組むにあたり、職員ひとり一人が特に心がけて取り組むべき行動を示すものです。その5つのスローガンの遂行は、職員のチャレンジ目標の設定にして、スポみど財団イズムの醸成と優秀者の表彰をしています。

【5つの行動指針】



愛情 私たちは プロとして自覚と誇りを持ち、人と仕事に愛情を注ぎます。



センス 私たちは 情報収集力と感性を磨いて、センスある仕事をします。



サービス 私たちは サービス業として一步進んだホスピタリティを提供します。



120% 私たちは 個を鍛えて成長し、仲間と連携して120%の効果をもたらします。



感動 私たちは スポーツとみどりの活動を通じて社会に感動を与える存在になります。